

# いたくら 議会だより

## 今月の 主な内容

- ◆ 9月定例会可決議案 ..... 2 P
- ◆ 一般質問 ..... 4 P
- ◆ 平成21年度決算認定 ..... 8 P
- ◆ 各常任委員会研修報告 ..... 10 P
- ◆ 陳情・議長エッセイ ..... 11 P
- ◆ 町政へ一言 ..... 12 P

2010 11 / 1

第115号



10/9~24 美しい花の祭典！  
コスモスまつりで賑わいをみせる

# 9月定例議会



平成22年第3回定例会は、9月8日から17日までの10日間の日程で開催されました。

今回の定例会では人事案件、条例の一部改正、各補正予算などの11議案について可決しました。また、平成21年度板倉町一般会計歳入歳出決算と各特別会計歳入歳出決算を認定しました。

人事案件・条例の一部改正・補正予算・決算認定など18議案を可決

4,696万2千円（一般会計）追加補正  
 平成21年度決算を原案どおり認定  
 一般質問には4名が登壇

9 / 8 (水)  
 議会初日

人事案件

◆板倉町教育委員会委員  
 小林信哉さん(大字大高嶋)が任期満了に伴い再任されました。

◆板倉町固定資産評価審査委員会委員  
 委員3名のうち、三芝秀雄さんが任期満了となるため、後任として小島輝男さん(大字岩田)を選任しました。

◆人権擁護委員候補者  
 馬場信雄さん(大字除川)と渡邊宗一さん(大字岩田)を推薦することに同意しました。

◆条例の一部改正  
 ◆板倉町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正  
 今年7月12日収集分よりラップ系可燃ごみを分別収集しているが、一般家庭においては、ラップ系可燃ごみの排出が少なく、臭いも出ることから、町民からはすぐに排出できるよう、小さい指定袋作成の要望が多く寄せられている。このことから、条例の一部を改正して分別収集の推進を図るものです。

条例の一部改正

◆その他  
 ◆東毛広域市町村圏振興整備

組合の規約変更に関する協議  
 臨海学校、東毛歴史資料館、群馬の水郷の譲渡等により、現在、組合が管理運営する施設は東毛林間学校のみとなり、組合の共同処理事務が縮小したことから、事務局の組織見直し等を図っているとおりであり、組合議会においても議員定数等の見直しを図るべく、組合規約の一部を改めるものです。

平成22年度  
 補正予算を  
 可決しました

	補正額	予算総額
一般会計	13,928	5,276,030
国民健康保険特別会計	11,662	1,946,079
介護保険特別会計	21,372	1,057,360
水道事業会計 (資本的収入)	15,400 の内訳変更	153,901 総額は変わらず

可決補正予算

(単位：千円)

◆補正予算質疑(一般会計)

補正予算質疑

議案第50号  
平成22年度板倉町一般会計補正予算

Q 石山(徳)議員

町民税の中で約7,000万円減額措置しているが、減収した最大の原因はどこにあるのか。

A 戸籍税務課長

町民税の個人ということ、7,478万3,000円の減額補正を提案した。その中身については、給与所得の減額が昨年に比べて7・6%の減額。さらに営業が10・8%、農業が8%近くの減額所得となっており、各所得のマイナス要因が重なったの減額となった。

Q 小森谷議員

交通対策費950万円計上されているが、一連の道路の安全対策ということで、板倉館林で1つの路線として対策を講じる話もあったが、最終的な決着は。



▲交通安全対策で死亡事故をなくそう

A 総務課長

死亡事故に伴う交通安全対策工事については、歩道にかわる安全対策をしたいと思っているが、館林の部分については、板倉町と同等のものを施工してもらおうと依頼書を出したいと思っている。

A 町長

見積書の内訳を見るとブルー塗装や白線を引いたり、削ったり、マーキング(人とか自転車等の絵)を何力所置くとかで、結構金もかかるので、できるだけ現状の白線などその効能、効果を保ちながら、最低限の費用で対応したいと思っている。

Q 秋山議員

婚活の内容について、もう少し具体的な説明をお願いしたい。また、シルバー人材センターの補助金の組み替えについて説明願いたい。

A 総務課長

婚活については、22年度は2回予定している。1回目は10月24日にパーベキューと銘打って、遊水池のパーベキューエリアで開催し、定員は男性、女性ともに30名、計60名で実施したい。2回目は2月13日にバレンタインパーティーを開催し、男女とも12名、計24名で実施したいと思っている。

A 町長

婚活の関係については、あくまで事務局の原案であり、参加人数について、なぜ区切るとか貴重な意見もあることから、これにこだわる必要はないと担当課に指示をしたいと思っている。特に10月のパーベキューパーティーについては、商工会青年部の意見を取り入れた中で、試行錯誤しながら対応したいと考えている。

A 健康介護課長

シルバー人材センターの関係については、8月から社会福祉協議会から離れまして、別になった関係で、それについての補助金の組み替えである。

Q 延山議員

合併対策事業ということ、アンケート実施に伴う関係で26万円減額、また、合併関係電算委託料も減額されているが、この内容について聞きたい。

A 企画財政課長

合併対策事業の減額については、電算委託料70万円の減額が一番の大きな要因であるが、内容については、当初抽出によりアンケート調査を実施する考えでいたが、全世界帯対象ということになり、電算委託料が不要になったことによる減額である。

Q 黒野議員

昨年、防犯灯が東西南北についていたが、今回の防犯灯新設工事費60万円の関係については、どこ場所に設置するのかが聞きたい。

A 総務課長

防犯灯の関係については、藤の木橋の南側で深夜歩行者が、歩いているところを後ろから来た車にはねられ死亡したという痛ましい事故があった。藤の木橋の南側と北側に防犯灯がない関係で、防犯灯を設置をして、若干明るくすることによって、事故防止につなげたい。

Q 青木(秀)議員

法人町民税は、昨年も1億1,000万円くらい入ってきていると思うが、平成22年度の見込はどの位になるのか。

A 戸籍税務課長

法人については、昨年度の決算で、法人税割、均等割あわせて1億1,800万円である。8月末で6,989万何がしで、昨年度の同じ月を見ると、5,329万9,000円となっている。法人も厳しい状況もあるが、板倉町の場合は、同時期と比較すると、約1,650万伸びている形であり、最終的に昨年以上の伸びを示してほしいと思っている。



# 一般質問

議会 2日目  
9月9日(木)

## ①青木秀夫 議員

### 「合併推進」、町長選で信任済み 町長の「初心・信念」で早急に「合併実現」を！



合併実現に町長の強力な  
リーダーシップを

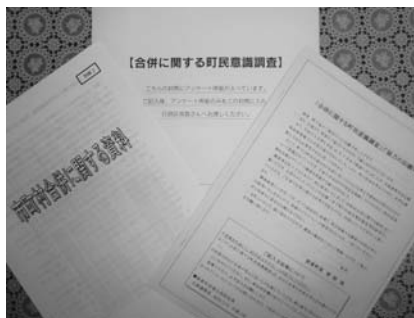
問・2年前の町長選挙で「合併推進」を第一番目の公約に掲げている中で、将来を視野に入れての「財政力強化」に意欲的であるようである。

合併についての町民意識調査を実施中であるが、既に2年前の町長選で合併推進は大筋で信任されている。合併については、当然反対意見も多と思う。役場職員はほとんど反対であろう。議会はどうか。選挙公約の第一に掲げた合併

を実現させるためには、反対意見説得という幾つものハードルを越えなければならぬと思う。その反対意見を信念を持って説得することが政治家のリーダーシップであると思う。長期展望に立つての「財政力強化策」と「合併推進」の関係についてのどのような説明をされるのか。

答・町長 町長選から2年近くたつての合併についてのアンケート調査、大半の合併支持者からは遅いという評価を受けていると思つている。私は合併を推進したいと思つているが、合併は相手もあるので非常に難しさがある。一回のアンケート調査で合併の方向性がどうかどうか。アンケート結果によつては、私の考え

方と相反することもある。そういう場合は町民に合併推進を説得していかなければならぬが、合併反対が多数でどうにもならなければ、私の方が合併推進を軌道修正する場合もあるかもしれない。



▲合併のアンケート結果はどうか

### プライマリーバランス（基礎的財政収支）の黒字額は

問・平成21年度決算における

プライマリーバランス（基礎的財政収支）は、どのような数字となっているか。

答・企画財政課長 21年度のプライマリーバランスは、約3億9千万円の黒字である。

問・国や地方自治体の会計は、企業会計と違って貸借対照表で表示することはなじまないということ、

財政が黒字か赤字かを把握するにはプライマリーバランスがわかりやすいということ、自治体会計の中心となっているのではないかと思う。21年度プライマリーバランス約3億9千万円の内容について伺いたい。

答・企画財政課長 私どもは、国のプライマリーバランスと違って自治体会計はプライマリーバランスを指標としてそう重く受けとめるものではないと考えている。

### 黒字続きの財政を踏まえての 将来展望は

問・21年度決算プライマリーバランス約3億9千万円

の黒字、この間何年も同じような黒字が続いてきたのではないかと思う。このプライマリーバランス黒字続きの板倉財政を踏まえて、現状の財政をどのように受けとめているか。できるだけ客観的な数字に基づいた認識を伺いたい。

答・町長 この10年間で約40億円の借金を返済したことは事実である。実態は町民の要望も聞けず、苦しい財政のやりくりの中で、借金を減らすことに全力を上げてきたということである。

借金のピーク時でも、町民に苦勞をかけながらも何とか持ちこたえてきたわけであるから、これだけ借金が減つた現在、一定の時期、それもそう遠くない時期ではあると思うが、要望の大きなもの、例えば庁舎の建て替え等も視野に入ってくるのではないかと思つている。ただ、プライマリーバランス（基礎的財政収支）の数字（黒字）だけを尊重するつもりはない。

# 一般質問

日 2 月 2 日  
月 9 日 9 月 9 日 議 会

## ② 秋山豊子 議員

### 女性や子どもの命を守る ワクチンに公費助成を



無料クーポン券の継続を

子宮頸がんワクチンの  
全額公費助成は

答・健康介護課長 現実的に  
始まっているので、でき  
うる限り続けていきたい  
と考えている。

問・20代から30代の若い女性  
に急増している子宮頸がん  
は、主に性交渉によっ  
て感染するヒトパピロー  
マウイルスが原因で起こ  
る病気で、日本では、年  
間1万5,000人以上  
が発症し、3,500人  
が命を落としていると推  
計され、群馬県内でも2  
008年度に41人の方が  
残念ながら亡くなってい  
る。子宮頸がん乳がん  
検診無料クーポン券は、  
23年3月で終了となる  
が、本町独自で継続でき  
ないか。

問・子宮頸がんは、発症原因  
が唯一わかっているがん  
である。それだけに定期  
的な検診とワクチンの両  
方で、ほぼ100%予防  
できると言われている。  
だがワクチンは任意接種  
のため、全額自己負担と  
なる。初診料を含めると  
3回の接種で、5万円前  
後かかり経済的負担が重  
い。県内で前橋をはじめ  
各市町村で、公費助成が  
進みつつある。本町でも  
全額公費助成すべきで  
は。

答・町長 子宮頸がんについ

て一応行政の立場として  
認識はもっているが、財  
源が伴うことで各首長と  
も非常に慎重である。本  
町の臨む姿勢として、大  
泉、明和町の町長がどう  
考えるか動向をうかがっ  
ている。財政豊かな町で  
も始めればやめられない  
性質上の問題もあり慎重  
である。

問・長い展望を考え、ただ財  
源が伴うということだけ  
ではなく、接種の範囲を  
決めて、中学1年生から  
3年生の女子全員接種の  
試算をし、1回接種で20  
年以上持続するので、次  
の年は1年生だけの接種  
で済む。ぜひ、実施すべ  
きである。

答・町長 一番問題としてい  
るのは、費用対効果だ。  
全額補助を求めて国の方  
向性を見定めた。

ワクチン行政への前進を

問・ヒブワクチン接種は、生  
後2ヶ月から7ヶ月位で  
開始し、4週から8週あ  
けて3回接種し、1年後  
に追加として1回、計4  
回で1回につき接種費が  
8,000円前後かかり、  
小児用肺炎球菌は、重い  
感染症を予防する子供用  
ワクチンで、1回接種約  
1万円かかる。両ワクチ  
ンとも自己負担である。  
子育て世帯の経済的負担  
軽減のため、公費助成す  
べきである。

答・町長 命を粗末にするこ  
うなことではないが、財  
政豊かな町でも取り組ん  
でいない。財政のない町  
だけに、他に使い道もあ  
ると考える。

問・そこで暮らす人々が、豊  
かで充実した生活ができ  
ているか、命と健康を守  
る取り組みの前進がある  
かどうか、それが安全・  
安心のまちづくりと考  
えるが。

答・町長 足を一步踏み出す  
ことは簡単だが、それが  
他の面に波及してくるこ

とも含め慎重であるべき  
と考える。

問・子宮頸がん、ヒブワクチ  
ン、小児用肺炎球菌ワク  
チンへの公費助成は、本  
町でしっかりと考えてい  
くべきだ。町民へのサー  
ビス低下を招いてはなら  
ない。

答・町長 もう少し時間をか  
けて考えたい。

空き家の適正管理は

問・高齢化や過疎化などで、  
全国的に空き家の件数は  
増加傾向にある。空き家  
が老朽化していくと、台  
風など自然災害時に倒壊  
の危険性や不法投棄、害  
虫、スズメバチによる近  
隣への被害の恐れもあ  
る。空き家の実地調査は  
行っているのか。

答・総務課長 平成18年度に  
区長さんに調査依頼した  
が、今日までは実施して  
いない。当時の結果は、  
空き地、空き家で145  
軒あった。

※ヒブワクチン接種とは、  
ヒブ菌による小児細菌性  
髄膜炎の予防接種のこと  
をいう。

一般質問

日 2月 議 会  
日 9月 9日 (木)

③ 小森谷幸雄 議員

積極的な観光行政の推進を  
実効性のある計画書策定を



群馬DC(群馬ドステイネーションキャンペーン)に沿った観光振興計画は

問・群馬県では、平成23年7月～9月にかけてJR6社各自自治体、観光事業者等と提携して国内最大規模の観光キャンペーン(群馬DC)を企画している。9月8日よりグリーンドーム前橋でプレイベントが開催され、本町も観光PRのため出店した。群馬DCに沿った当町の観光振興計画を聞きたい。

答・産業振興課長 開催時期及び平地観光という難し

さがあるが「揚舟、農産物、川魚料理」等を紹介したい。

問・東毛エリアは、JR各社との関係も薄く、また大きな観光資源も少ない中で、どのような取り組みをするのか。

答・産業振興課長 東毛地域連合体で各自自治体の観光スポットを抽出し、モデルコースを設定しPRする。当町では「揚舟」の乗船体験を推奨する。

問・通年における観光客誘致策は。観光資源別、客層別、交通手段別に観光メニユーを提案できるモデルコースを設定すべきと考えらるか。

答・産業振興課長 今後、メニユー提案型観光に対して東武鉄道、東洋大学、当町の三者連携で積極的に観光振興を推進したい

と考えている。

答・町長 群馬DCについては、群馬県観光の再構築と認識している。観光資源を豊富に持つ自治体、持たない自治体で取り組む熱意には温度差を感じている。当町は観光資源的には恵まれていない。平地観光の難しさも実感している。しかし、町の発展、活性化を推進するには限られた資源を有効的に活用するため町独自の観光ルートを設定しPRすることも必要である。また、遊水地の対応も検討しなければならぬと考えている。

問・当町では「活力を生み出すまちづくり」として、当町の観光行政の基本となる「板倉町観光振興計画書」が策定されているがその活動状況は。

答・産業振興課長 今後委員会等の見直し、活性化を図り、評価・検証を含め振興計画が実現できるよう配慮する。



▲自然を生かした観光スポットで町のPRを

総合計画の活用における今後の在り方は

問・当町では「総合計画」を柱に各種の「計画書」が策定され、多くの事業が町民の暮らし向上のために進められている。ここに来て「総合計画」策定の義務付けが緩和されようとしている。総合計画策定には多くの労力と経費が投入されているが、活用における効果の実態は少なく、形骸化していると批判的な意見もある。今後の総合計画の在り方を聞きたい。

答・町長 今後の総合計画策

定においては、安易に民間委託に頼ることなく、職員の方で実現可能な計画書策定を考えている。

問・総合計画書を含め当町にはいくつの計画書があるのか。また、作成のための費用を聞きたい。

答・企画財政課長 計画書は16件。策定費用は12計画、最大で600万円。4計画については、職員の手作りである。

問・各種計画書が策定された後の運用については、どのような体制になっているのか。計画書は基本構想・基本計画・実施計画の流れで構成され、具体的に事業が展開されると考える。その事業の評価は課あるいは全庁的な会議の場で評価をするのか聞きたい。

答・町長 計画書策定について、基本的には当町において将来的に必要な最小限の事業で実行可能な範囲で考える必要がある。評価については、予算編成時における企画財政課長・町長ヒアリングで事業の必要性・予算規模を査定する。



# 一般質問

議会 2日(月)  
9月9日(火)

## ④石山徳司 議員

### 社会の制度で不変なものはない 国保の規定も時代に合わせるべき



国保税の課税形態が  
違ってきたのはなぜか

問・国保の財政運営枠組みに、

法定分、法定外支出があることは、前議会で聞いた。法定分とは町の負担義務額。法定外とは国保の財政運営による赤字補てん分と聞いた。一方、国保税課税形態は、3つに分類されていて、基本的な分担割合が法令に明記されている。その一つ、課税形態4方式だが、所得割100分の40、資産割100分の10、均等割100分の35、平等割100分の15となっていて

る。3方式では所得割100分の50、均等割100分の35、平等割100分の15となる。2方式では所得割100分の50、均等割100分の50と法文化されている。なぜ、国保という生命維持制度を運用していく中で、基本原理が違ってきたのか知りたい。

答・健康介護課長 基本的には、どの方式を選択するかは、条例で定められている。郡内各市町の採用している4方式は市町村型、3方式は中小都市型、2方式は大都市型と言われている。3方式は、県内では前橋市、嬭恋、草津、六合、高山村などの自治体がある。2方式は県内に無い。近隣のさいたま市、川越、春日部、久喜などが採用している。

現状と国保税の課税方法  
にずれがあるのでは

問・国の健康保険法令では、

応能割、応益割が50対50に定義されている。応能割は所得と資産、応益割は平等割と均等割となっている。然るに町の国保制度改革案でも、応能割、応益割の比率が67対33と表記されている。現状の職業の多様化と家族形態の複雑化の中で、国保税課税方法と現状にずれがあるのではないかと。

答・健康介護課長 応能割、

応益割が50対50が原則的なもので、それが67対33で推移してきたことに、特別な理由は思い当たらない。結果的に税のやり繰りをしていく中で、そうなったと考える。しか

答・町長 国保の制度は、あ

し、50対50の基本に近づけることは重要と思う。できるだけ均衡と合意を前提に、広く薄くが原則とされている。税はいかに平易に取れるかが大切で、農村部は比較的所得が低いので、水田や畑に賦課してきた結果、資産割が高くなってきたと考える。都市化すればするほど資産は持てず、課税対象は、所得割になっていく。一方、資産には、固定資産税が賦課されていて、更に国保税の賦課は二重課税の側面があり、資産が常に所得を生むとは限らないので、資産割は軽減していくべきかと思っている。また、国保の未納分が増大傾向にあり、収納には力を入れていく。更に課税制度を強化しながら、国保の運営を安定と平等を目標に進めていくつもりだ。

郡内各市町と法令による  
資産割が逸脱していないか

問・国保税根幹に触れること

答・町長 それぞれの率は、

各市町で原則的なものを踏まえて、真剣に考えた上での比率とされている。過去、何十年前に制度化されたかわからないが、当時とすれば、妥当な比率だったのではとも思える。しかし、現実的には、多少の問題点があり、資産割については、幾らかでも下げる方向に行かなければと考えている。



▲国保財政の安定化で充実した医療を受ける

【1. 一般会計】

歳入総額 63億3,583万2,920円  
 歳出総額 57億3,009万4,707円  
 差引残額 6億0,573万8,213円

【2. 老人保健特別会計】

歳入総額 2,589万6,819円  
 歳出総額 616万2,542円  
 差引残額 1,973万4,277円

【3. 後期高齢者医療特別会計】

歳入総額 1億2,165万4,806円  
 歳出総額 1億2,033万7,623円  
 差引残額 131万7,183円

【4. 国民健康保険特別会計】

歳入総額 20億2,127万4,440円  
 歳出総額 19億2,554万6,408円  
 差引残額 9,572万8,032円

【5. 介護保険特別会計】

歳入総額 9億6,431万8,479円  
 歳出総額 9億4,620万6,276円  
 差引残額 1,811万2,203円

【6. 下水道事業特別会計】

歳入総額 2億1,240万2,488円  
 歳出総額 1億9,582万9,307円  
 差引残額 1,657万3,181円

【7. 水道事業会計】

収益的収入 3億2,514万8,533円  
 収益的支出 3億1,894万3,064円  
 資本的収入 7,911万5,500円  
 資本的支出 2億1,308万2,396円

**板倉町では**

**使ったお金は  
いくらなの？**

(一般会計)

**57億3,009万4,707円**

でした

**決算審査意見書**

【審査期日 平成22年8月18日 監査委員 高瀬博通 青木佳一】

総括的意見 平成21年度においては、一般会計及び特別会計を通じて、歳入歳出決算はその計数に誤りがなく帳簿、証憑書類も整備されており、会計経理は適切であります。また、総体としても、財政も健全に運営されており、有効かつ適切な予算の執行によって、町民福祉の向上と地域社会の発展に努力されており、行政目的が大方達成されたものと評価いたします。

今後、地方分権、行財政改革を推進していくうえで、これらの趣旨を十分認識し健全な財政運営の堅持になお一層の努力を期待するものであります。

**9/17最終日**

**平成21年度  
決算（一般会計・特別会計）を  
認定しました**

監査委員の意見書と共に町長から提出された、平成21年度一般会計及び特別会計（地方自治法233条）決算について審議し、可決・認定しました。

**一般会計**

主な質疑

議案第54号  
平成21年度板倉町一般会計歳入歳出決算認定

**市川議員**

Q そらいる保育園は、平成20年度に開園し3年目となるが、平成20年、21年、22年の園児数を聞きたい。また、途中で板倉保育園や北保育園に転園させてしまうケースもあり、その転園した園児は何人位いるのか。

**A 福祉課長**

園児の推移について、平成20年度は、年度末でいきますと125名。平成21年度が111名。平成22年度については、9月1日現在で102名

**石山(徳)議員**

Q 学童保育の関係については、学童1人当たりどの程度のお金がかかるのか。その補助割合についても聞きたい。

**A 福祉課長**

学童クラブの関係については、町の補助金として、みづばち学童クラブに補助額306万9,000円。児童数が、年平均して38名程度おり、そ



◆決算認定（平成21年度 一般会計質疑）

の人数で割ると1人当たり約8万円の経費がかかっている。また、補助割合については、国・県で3分の2、町が3分の1となっている。

**Q** 小森谷議員

町の風景計画については、今年度、町民への周知を図るということだが、この条例を策定した中で、こういうものを大事にするとか、アピールが感じられない。事業年度ごとに、トライをしていくことが非常に大事であり、今後の考え方も含め策定の意義について聞きたい。

**A** 都市建設課長

景観計画は10月1日からスタートし、その意義については、板倉町のすばらしい景観を長く将来に遺していくために策定したわけである。町民の理解も一気にいかない面もあるので、まずは広報紙あるいはチラシ等で周知をして、将来的には、板倉の風景、河川、家屋、貴重な樹木など、段階的に年数をかけて、指定をしていきたいと考えている。

**Q** 延山議員

資源化センター管理事業の

燃料費については、昨年比去年に比べて大幅に少なくなっている。燃料費の納入について、どのような形で業者の選定をしているのか。

**A** 環境水道課長

資源化センターの燃料費の関係については、以前は農協だけで賄っていたが、不公平ということ、町内業者と会議を持ち、値段は現状の相場を参考に、順番制をとることにより経費の節減となった。

**Q** 川野辺議員

地区消防組合の本署の建てかえと耐震の話が出ているが、耐震化になるのか建てかえになるのかによって、決算金額とか新たな予算組みも変わってくると思うが。

**A** 総務課長

地区消防本部は、耐震をクリアしていない庁舎ということで、耐震の診断に入ろうというのには決まっている。その結果が出てから、耐震補強をするのか、建てかえになるのかが決まる。

**Q** 野中議員

生活対策臨時交付金事業の

関係では、15事業のうち12事業が町内業者、全体で80%、金額でも75%、9,000万円円強となっている。また、経済危機対策臨時交付金事業では、16事業のうち11事業が町内業者ということで、69%、金額で90%、約1億6,000万円となっている。町へ与えた影響は大きいと思うが、もし交付金が来なかった場合どう対応するのか聞きたい。

**A** 町長

道路関係でいえば、他町と比較して非常に遅れていることもあり、今回の交付金をつけさせてもらった。町内業者も有効に使うべく、業者の選定も随意契約を取り入れ実施したところである。次年度、国の交付金が来るかわからない状況もあるが、全体を見ながら必要などころには、基金を取り崩してもやっていきたいと考えている。

**Q** 秋山議員

保健センター管理運営事業の中で、ブックスタート事業が開設されているが、現在まで何件くらいあったのか。また、その絵本については、どのように購入して、その親の

感想も聞きたい。

**A** 健康介護課長

ブックスタートの関係については、平成20年4月から開設して、現在まで250名の方々が受けている。絵本等の購入については、NPO法人のブックスタートという業者から購入をしている。また、親の感想については、小さい子供にあっても話しかけてあげると、大変喜んでいたりという感想をいただいている。

**Q** 青木(秀)議員

実質国の借金である臨時財政対策債の発行額が、年度によって4億のときもあれば、3億のときもある。その発行額は板倉町の意思に関係なく、国の指示、都合で決定されているのか、その根拠を。この臨時財政対策債の用途は、交付税同様、町の裁量で自由なのか。それと、臨時財政対策債の21年度末残高はどうなっているのか。

**A** 企画財政課長

臨時財政対策債の発行額については、基準財政需要額と基準財政収入額の差額（不足分）が地方交付税として算定

されている中で、その振替分として決定される。従って、その年度の財政規模によって算定されるので発行額に変動が出る。21年度末の臨時財政対策債の発行残高は、約18億8,000万円になっている。

**Q** 黒野議員

生活対策・経済危機対策の臨時交付金で、防犯灯設置については、各支部の補助金を含めながら実施してきたが、最終的な交付金が2,000万弱となっているが、この内容は、また、地域によっては、かなり暗いところもあり、今後、増設していく考えはあるのか聞きたい。

**A** 総務課長

防犯灯の関係については、当初、2,000万円くらい実施したいと言ってきたが、最終的に615基で1,925万円となった。この生活対策交付金と、経済危機対策臨時交付金における、防犯灯の設置事業は、一応終結したと想っている。今後は通学路を重点に、路線ごとに行きたいと考えている。

3市1町ゴミ処理&米粉の活用



研修先のクリーンピア共立において

[研修先]
・山形県東根市
・秋田県大潟村

「クリーンピア共立」という山形県東根市にある一般廃棄物処理施設を研修してきました。大変効率よく、「焼却施設」、「リサイクル施設」、「最終処分場」が近隣にあり、とてもすばらしい環境のもと、これら取り組もうとしている、「館林市」、「板倉町」、「明和町」との、1市2町のゴミ処理施設

また、高齢者が生涯現役を目指すように各事業を推進し、食の重要性を中心に主婦の保健指導員を活用し、健康教育と保健事業で培ったものを家庭や地域のため、市民の健康に対する意識の高揚に貢献している。佐久市は世界最高健康都市の構築を目指し独自に取り組んでいる。我が町でも高齢者が、生涯生き甲斐を持つて健康で明るく楽しく暮らせるよう、各事業の推進が急務であり、

「米粉を使用したギョーザの皮を全国に発送」の皮を全国に発送 八郎潟の干拓で有名な、「大

て、大潟村の米粉を使用したギョーザの皮を作り、全国に発送することでした。本町も企業誘致に取り組んでいることですので、大変参考になりました。(副委員長 川野辺達也 記)



健康づくり&水防災対策



研修先の長良川河口堰において

[研修先]
・長野県佐久市
・岐阜県海津市

佐久総合病院と浅間総合病院の二つの病院が地域の中核となり、住民のプライマリケアや疾病予防、より健康に生きるための健康教育を病院、市、住民の連携プレイで進めてきた結果、日本でもトップレベルの地域医療の先進エリアになり、地域医療が確立した。

また、高齢者が生涯現役を目指すように各事業を推進し、食の重要性を中心に主婦の保健指導員を活用し、健康教育と保健事業で培ったものを家庭や地域のため、市民の健康に対する意識の高揚に貢献している。

海津市は水防災対策研修でした。木曾三川と呼ばれる下流域で古くから洪水との戦いで耕地を広げてきた。輪中と呼ばれ特異な地域が点在し、三つの川の流れを分けて洪水を防ぐことは、輪中に住む人の悲願でした。今では丈夫な堤防が作ら

我が町も災害に強い地域づくりをより一層展開することが必要であり、最も大切なことは、自分の命は自分で守ることであり、そのことを一人一人が身に付けることの必要性を海津市を通して再認識した意義ある視察研修でした。(委員長 市川初江 記)

世界最高健康都市の構築を目指す「佐久市」、水防演習を毎年実施し災害時に対応「海津市」

病院、市、住民の連携による地域医療の推進

佐久市では健康づくり対策について研修。

自分の命は自分で守る意識を身に付ける

海津市は水防災対策研修で

各常任委員会研修レポート

詳しい内容がわかります

## 議会議事録

議会だよりを通じて、皆さんに議会の様子をお伝えしていますが、それらはほんの一部をご紹介しますにすぎません。詳細については、議会議事録を板倉町ホームページに掲載しておりますので、ぜひ、お読み下さい。

なお、議事録は各公民館にも取り揃えてあります。一般の図書と同じように閲覧できますので、ご利用下さい。

## 議会用語解説

### 継続審査

会期中に議案などの審査・調査を終了することが困難な場合に、閉会後も引き続いて付託を受けた委員会で審査・調査を行うことをいいます。

なお、継続審査を行うには議会の議決が必要になります。

自然を財産に更なる活性化を 議長 塩田俊一

### 議長室エッセイ

暑さ寒さも彼岸まで。の諺のとおり、7月からの猛暑の日々が秋彼岸に入り、10℃以上の気温の急降下、暑かった夏も終息し、実りの秋となり、菊香る今日この頃です。

先日、邑楽郡議長会の研修で「水と環境、観光について」をテーマに、島根県津和野町の役場へ行って参りました。下森博之町長より歓迎の挨拶を受けた後、観光課長、環境生活課長の両氏から、大変熱心な説明がなされました。

自然豊かな町並みや、清流日本一を自負する高津川の流れ等を視察いたしました。我々一行を迎え入れてくれた、温かい心遣いが、全国各地から多くの観光客を呼ぶ所以であり、町民が一体となって、「町をきれいに」、川を汚さない、努力、協力していることが、感じられました。担当課長も力説していました。町の水道水の全部が、自然の湧水で賄っており、コストは滅菌のための薬剤くらいとこのことで、大変、うらやましい限りです。板倉町も雄大な谷中湖、谷田川の静かな流れや、自然を財産に更なる活性化を町民の皆さんと考えていきたいと思っております。



▲陳情箇所を現地調査する産業建設生活常任委員会

校の教室の一部及び校庭の開放。④町内在住の児童なら誰でも利用できる町営の学童保育施設の整備。

◆町道3298号線の拡幅整備についての陳情

陳情者 第11行政区長 梁宮 功次

結果 採択

(要旨) 町道は、現況幅員が2mと狭く、農耕車両等の通行に非常に支障きたしているところがございます。また、集落から国道354号へ向かう道路として重要な路線でもあります。なお、拡幅となる道路用地につきましては、寄付をいたしますので早期に整備をお願いいたします。

## 陳情

◆核も戦争もない平和な21世紀を築くための2010年非核平和行進要請書

陳情者 2010年非核平和行進群馬県実行委員会代表 猪上輝雄他7名

結果 継続審査

(要旨) 広島・長崎への原爆投下から65年目の夏を迎えています。しかし、この65年間核兵器の廃絶を訴え続けてきた被爆者たちの声は未だに結実していません。2010年の

非核平和行進(子どもたちに核も戦争もない平和な未来を！非核・平和のための行進)県内行進は、原爆被爆の実相を広めながら、繰り返される

戦火の終結と「核も戦争もない平和な世界」の実現をめざして、全国行進の一環として実施されています。つきましては、貴自治体ならびに議会等に対応して下さるよう、要請いたします。

(要請項目) ①非核平和自治体宣言の採択。②日米地位協定抜本改定を求める意見書採

択など9項目の要請。

◆板倉町の教育環境及び子育て支援に関する陳情(要望)

陳情者 岡田秀美他149名

結果 継続審査

(要旨) 今後5年間の町内各小学校の入学予定児童数は、西と東小学校で1学年30〜50人を維持するものの南と北小学校においては1学年8〜19人と急激に減少しています。ぜひ、早急に小学校の適正規模化のための統廃合を行い、児童の登下校の安全確保のためのスクールバス導入をしてい

ただきたいと思えます。また、町内循環バスとして併用してもらい、子育てと介護の同時負担を背負いかねない、実労働層の人たちの負担軽減のためにも、働きながら子どもを育てられる環境を、地域ぐるみで築いて行っていただきたいと思えます。

【陳情項目】

①公立小学校の規模の適正化のための統廃合。②子供の登下校の安全確保のためのスクールバスの導入。③放課後の遊び場確保のための、小学



二

ユータウン商工業用地に施設の早期誘致を

〜活気ある町を目指して〜

朝日野 澤村真也さん



国道354号線を東に走ると右手にゴルフ場が見える。そこを通り過ぎたあたりから田園風景が広がり、国道を左

折すると目の前には、大きな住宅街が見えてくる。街路樹は緑をたたえ、歩道を親子が楽しそうに歩いている。買い物にでも行くのであろうか。多くの人が、そのような活気あふれるユータウンとそれを取り囲む、歴史ある田園都市としての地域を望んでいたはずである。ところが現実

には、雑草の生い茂る広大な空き地が目立ち、駅前の商業用地も手つかずの土地が多くある。多くの人が住みたいと思う町を目指し、先の景気が見通せない今こそ、行政がリーダーシップを発揮し、事なかれ主義ではない誘致政策を期待する。

若

者が定着する魅力ある板倉町に

〜雇用の場を確保する政策を〜

大字下五箇 岡田浩司さん



一昨年のリーマンショック以来、景気回復の兆しも見えず厳しい状況が続いています。景気回復に向け、新たな政策を求める声も聞こえてき

ていますが、雇用情勢も厳しい状況です。同様に、新卒者の就職活動も、激しい逆風にさらされている状態です。そこで、町政に雇用の場を確保する政策をお願いしたいと思えます。特に若い人が働ける場を、積極的に支援していただけないでしょうか。工場や商業施設の誘致、または、雇い入れ企業への助成金制度

など、手段は様々かと思えますが、適切で効果的な方法が必ずあると考えます。是非、検討してみてください。地元で定着する若い人が増えれば、地域の活性化に繋がると思えます。これからも魅力ある板倉町になっていくために、ご一考いただけないでしょうか。

『傍聴してみませんか』

だれでも簡単にできます  
“議会傍聴”

議会の本会議は公開制となっています。会議当日受付簿に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。今度の定例会（12月議会）は12月8日からを予定しています。

議会傍聴についてのお問い合わせは、議会事務局電話82-1111 内線511番までお気軽にお電話ください。



編集後記

人間にとって一番大事なことは、人の喜びや悲しみがわかる心だと思えます。明るく温かく、素直な心で人のことが思いやれる。人さまのことを思いやれる心の上に知識、技術が備わってこそ人間らしい人間と言えるのだと思えます。

人間として本質的なものを育てることを忘れて、受験だ、勉強だと押しつけている親が多くなっている現在。立派な大学を出てエリートだ、秀才だと言われてきた人が、簡単に人を殺してしまうような事件が次々と起こる原因の一端も、その辺に潜んでいるように思えます。

子供は親の毎日の言動から決定的な影響を受けて育ちます。親が目覚めないと取り返しのつかないこととなります。子供の良きお手本になる人間らしい生き方を示していきたいものです。

(市川初江記)